

2024年5月9日

サンデン株式会社

**第 45 回ウィーン国際モーターシンポジウムで
Vitesco Technologies 社との協業による
「バッテリー電気自動車用統合熱マネジメントシステム」を発表**

当社グループ会社である Sanden International (Europe) GmbH (以下 SIE) は、電動ドライブトレインのリーディングカンパニーである Vitesco Technologies GmbH (以下 Vitesco) と、第 45 回ウィーン国際モーターシンポジウムで、「バッテリー電気自動車 (BEV) 向け統合熱マネジメントシステム」に関する共同発表を行いました。この発表では、寒冷地での走行距離の延長、急速充電の実現、車室内の温度面での快適性の提供など、熱マネジメントの重要な機能に焦点を当てています。

第 45 回ウィーン国際モーターシンポジウムは、『温室効果ガスのニュートラル化』をメインテーマに、4月24日から4月26日まで開催され、25か国以上が参加して最新技術や戦略が紹介されました。

SIE と Vitesco の統合熱マネジメントシステムは、最小限のモジュールで車内空間、ドライブトレイン、バッテリーの様々な冷暖房機能をニーズに応じてフレキシブルに提供することが可能です。この統合熱マネジメントシステムは、自然冷媒であるプロパン (R290) を使用したコンパクトな冷媒ユニットと、クーラント(冷却水)を使用した水分配モジュールによって構成された熱エネルギー分配システムで構成されています。これにより、複雑さを軽減し柔軟な適応性を確保、車両製造工程における工数の軽減、そして最終的には自動車メーカーのシステムコスト削減に貢献します。さらに車室内を流れる冷媒と、フロントフード内の冷媒を分離した“インダイレクト方式”を採用することで、欧州で今後導入が予定されている PFAS 規制に適合できます。

シンポジウムでは C クラス車両の顧客要件に基づいたシステムを展示しました。また、実演により関連する主要なシミュレーションデータに基づきシステムの性能を紹介し、関連部品と車室内の冷暖房性能を実証しました。

当社は中期経営計画 SHIFT2028 に基づき、熱マネジメントシステムのリーディングカンパニーとして成長を続けてまいります。



(参考ページ)

[SANDEN - Automotive, Systems.](#)

[Vitesco Technologies - Home \(vitesco-technologies.com\)](#)

[International Vienna Motor Symposium \(wiener-motorensymposium.at\)](#)

本件に対するお問い合わせ
サンデン株式会社
総務本部 グローバル総務セクション (広報)
sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com
